

平成30年度 第Ⅱ期
大学院入学試験問題用紙

科 目 名	受験専攻	受験番号	氏 名
伴 侶 動 物 学	ハビタセラビ－学専攻 博 士 前 期 課 程	番	

1. ペット飼育にともなう社会的問題について、環境的問題、一部動物種に見られる問題行動、人獣共通感染症の観点から解説せよ

2. 以下の語句について説明せよ

- 1) 愛撫誘発性攻撃行動
-
- 2) 氾濫法
-
- 3) 転嫁性攻撃行動
-
- 4) オペラント条件付け
-

平成30年度 第Ⅱ期
大学院入学試験問題用紙

科 目 名	受験専攻	受験番号	氏 名
野 生 動 物 学	バイオセラピー学専攻 博士前期課程	番	

問1．大型哺乳類の生態系機能について、具体例を示しながら説明しなさい。また、大型哺乳類が絶滅することで生態系機能が失われた場合、森林は将来的にどのようなになるか述べなさい。

問2．哺乳類の進化について次の指示に従い論述しなさい。論述する進化時間はペルム紀後期から現代までとする。ペルム紀後期の哺乳類の祖先系統とその大量絶滅の要因について述べること。恐竜（主竜類）の繁栄とその絶滅による哺乳類の多様性の変化について言及すること。哺乳類の三大系統とは何を指すか、その地理的由来とともに述べること。

平成30年度 第Ⅱ期
大学院入学試験問題用紙

科目名	受験専攻	受験番号	氏名
人間植物関係学	バイオセラピー学専攻 博士前期課程	番	

下記の問いについて、すべて解答しなさい。

問題1．生産園芸との違いを述べたうえで、趣味園芸の特徴と役割について説明しなさい。

問題2．日本における花卉園芸の成立（変遷）について知るところを述べなさい。

平成 3 0 年 度 第 II 期
大 学 院 入 学 試 験 問 題 用 紙

科 目 名	受 験 専 攻	受 験 番 号	氏 名
植 物 介 在 療 法 学	ハ イ セ ラ ビ ッ ー 学 専 攻 博 士 前 期 課 程	番	

問 1 植物介在療法の中でも、主として植物を栽培する行為を含む園芸活動を活用する療法を園芸療法と呼ぶ。園芸療法は、対象者が抱える課題を解決するための目的によって実践される。園芸療法の対象者を具体的に一つあげ、その対象者が抱える課題と目的、目的にふさわしい実践例と予想される効果を述べよ。(50 点)

問 2 園芸療法の治療構造において必要とされる環境（物的環境および人的構造）について、具体的に述べよ。(50 点)

平成30年度 第Ⅱ期
大学院入学試験問題用紙

科目名	受験専攻	受験番号	氏名
動物介在療法学	ハートセラピー学専攻 博士前期課程	番	

以下から2問を選び、答えよ。

問題1) 動物介在療法に用いられる動物は、犬、馬、イルカ、猫の順で、犬は圧倒的に多く、猫は少ない。なぜ犬が圧倒的に多く、猫が少ないか、述べよ。

問題2) 動物介在療法は、欧米諸国では、代替補完医療に位置付けられている。代替補完医療とは何か、具体的に答えよ。

問題3) わが国の動物介在療法の発展及び普及に必要なことは何か?あるいはそれらを妨げているものは何か?3つ上げよ。

平成 3 0 年 度 第 II 期
大 学 院 入 学 試 験 問 題 用 紙

科 目 名	受 験 専 攻	受 験 番 号	氏 名
植 物 共 生 学	ハ イ セ ラ ビ ョ ー 学 専 攻 博 士 前 期 課 程	番	

問 1. 絶滅が危惧される植物の種について、具体的な例を挙げ、絶滅リスク上昇の要因や現状について説明しなさい。さらに、その種を保全するためにはどのような対策が必要か述べなさい。ただし、次の括弧内の語句をできるだけ多く、適切に用いて記述すること。
(分類、生態、分布域、遺伝的多様性、集団サイズ、近交弱勢、系統、遺伝的浮動)

平成30年度 第Ⅰ期
大学院入学試験問題用紙

科 目 名	受験専攻	受験番号	氏 名
伴 侶 動 物 学	バイオセラピー学専攻 博士前期課程	番	

1. 伴侶動物の品種改良に伴い、起きうる問題について、以下の回答欄に記述せよ。（回答は100文字以内とする）
<解答欄>

2. 社会がペットに求め感じているペット飼育の利点について、4点を挙げ、以下の回答欄に記述せよ。
<解答欄>

①

②

③

④

3. イヌは人間のハンドシグナル（指や手の動き）に強く反応することが、最近の研究によって明らかになっているが、その理由を、ヒトとの共存の歴史の中でイヌが担ってきた役割の観点から考え、回答欄に記述せよ。
<解答欄>

4. イヌの攻撃行動を3種挙げ、それぞれの説明を以下の回答欄に記述せよ。
<解答欄>

攻撃行動の種類		説明
	攻撃行動	
	攻撃行動	
	攻撃行動	

平成30年度 第I期
大学院入学試験問題用紙

科目名	受験専攻	受験番号	氏名
野生動物学	バイオセラピー学専攻 博士前期課程	番	

- 問1. 近年、外来種問題が深刻化している。外来生物による主要な問題を3つあげ、それぞれ具体的に説明せよ。また、外来生物被害予防三原則について述べよ。
- 問2. 生物多様性の3つのレベルについて具体的事例を用いて説明するとともに、総じて生物多様性とは何であるか述べよ。

平成30年度 第I期
大学院入学試験問題用紙

科目名	受験専攻	受験番号	氏名
人間植物関係学	バイオセラピー学専攻 博士前期課程	番	

下記の問いについて、すべて解答しなさい。

問題1. 生産園芸との違いを述べたうえで、都市園芸の役割について説明しなさい。

問題2. 江戸時代に発展した園芸文化を支えた植物を一つあげ、その植物の特性などについて知るところを述べなさい。

平成 3 0 年 度 第 I 期
大 学 院 入 学 試 験 問 題 用 紙

科 目 名	受 験 専 攻	受 験 番 号	氏 名
植 物 介 在 療 法 学	ハ イ セ ラ ビ ッ ー 学 専 攻 博 士 前 期 課 程	番	

問 1 植物介在療法の中でも、主として植物を栽培する行為を含む園芸活動を活用する療法を園芸療法と呼ぶ。園芸療法における園芸療法士の役割を三つあげ、それぞれを説明しなさい。(50 点)

①

②

③

問 2 園芸療法は、対象者が抱える課題を解決するために実践される。以下に、園芸療法の対象者を具体的にあげ、その対象者が抱える課題と目的、目的にふさわしい実践例と予想される効果を述べなさい。(50 点)

対象者：

課題と目的：

実践例：

予想される効果：

平成30年度 第I期
大学院入学試験問題用紙

科 目 名	受験専攻	受験番号	氏 名
動物介在療法学	ハニオセラピー学専攻 博士前期課程	番	

以下の問題から2題を選び、答えなさい。

問題1．動物介在療法などに用いる動物について、「人と動物の関係に関する国際組織」（International Association of Human-Animal Interaction Organizations）では、プラハ宣言（1998年）のなかで、家畜で、かつ positive reinforcement でトレーニングされた動物に限ることとした。宣言を厳密に守ると「馬」を用いることはできない。なぜか？また、どうすれば用いることができるか？述べよ。

問題2．動物に関わることによって得られる効用には、1）身体的、2）心理的、及び3）社会的なものがある。具体的な動物種を2つあげ、それらの効用について述べよ。

問題3．動物とこどもとの関係について、「非言語コミュニケーション」の発達に関する研究がある。「非言語コミュニケーション」とは何か？また、動物がどのように関わるのか？述べよ。

平成30年度 第I期
大学院入学試験問題用紙

科目名	受験専攻	受験番号	氏名
植物共生学	バイオセラピー学専攻 博士前期課程	番	

地球の未来には、生物多様性の保全が必要不可欠である。以下の課題に対して論じなさい（各課題 300 字程度、裏面の使用可）。

①生物多様性とは何かを説明し、保全が必要である理由を論じなさい(30 点)。

②人類が生物多様性の保全を進めるに当たり、どのような生物群の保全が必要なのか論じなさい(30 点)。

③生物多様性保全を進めるに当たり、あなたならどのように取り組むことができるか論じなさい(40 点)。